

平成22年度 高速道路無料化社会実験

実験開始後の6カ月間の状況について

1. 他モードの状況
2. 物流
3. 観光

<参考資料>

平成23年3月
国土交通省

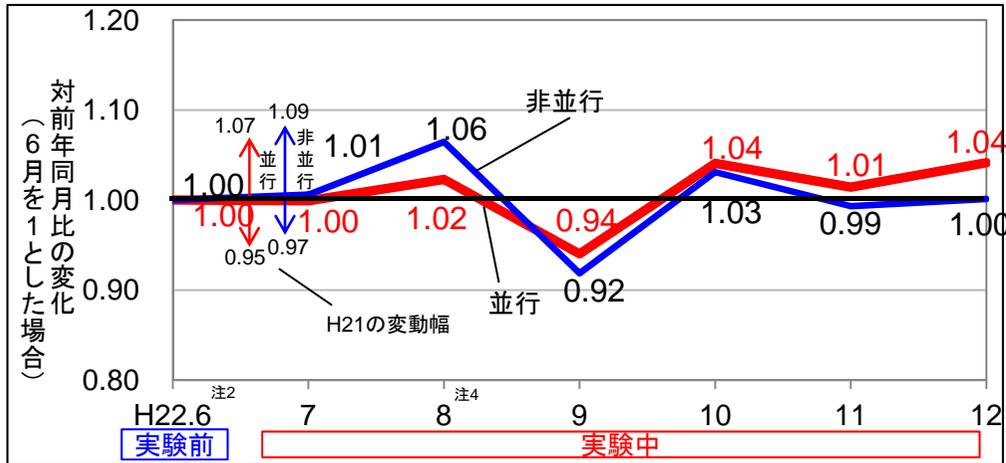
本資料のデータは実験開始後6カ月間のデータであり、引き続きデータの収集・分析を進める。

◇他の交通機関について、

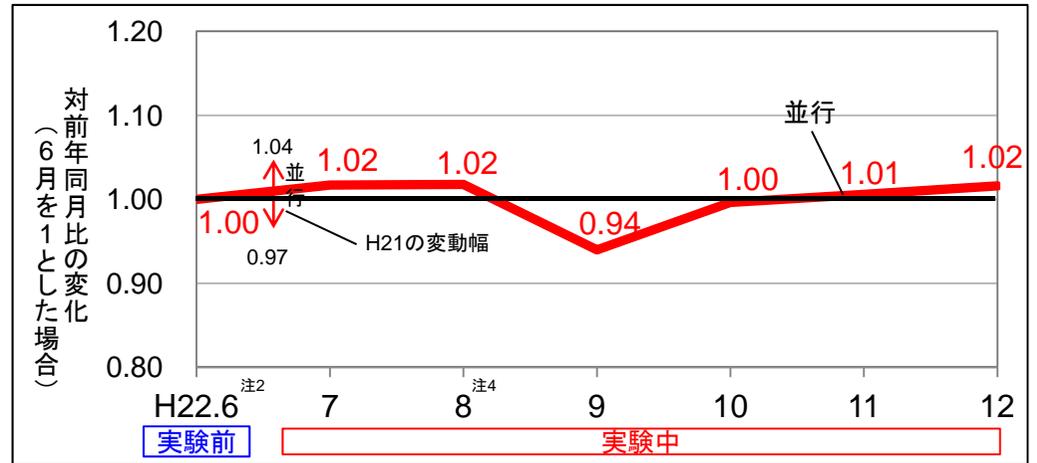
マクロとして、実験開始前後で大きな変動はみられない

他の交通機関の旅客輸送量の動向(マクロの分析^{注1}) (全日)

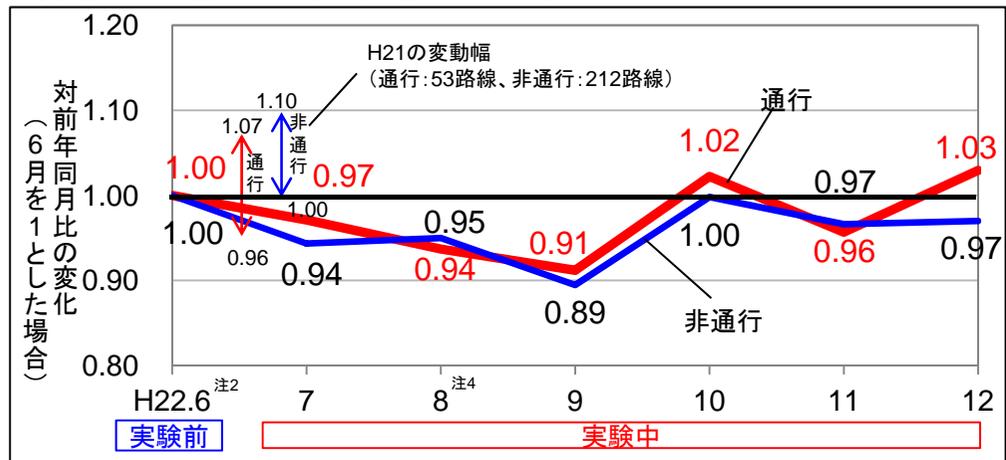
JR(特急) 並行:20断面、非並行45断面



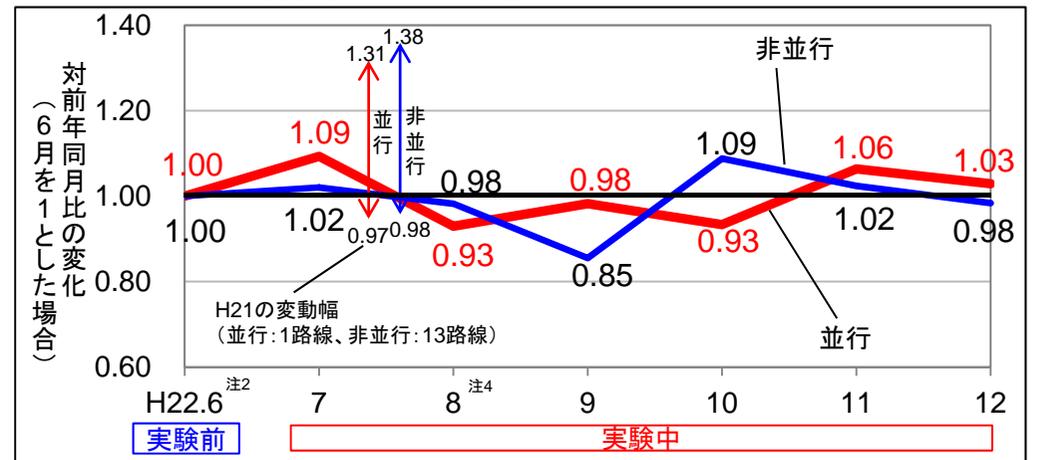
大手民鉄、地域鉄道^{注3} 並行:10断面、非並行:データ無し



高速バス 通行:71路線、非通行:296路線



フェリー 並行:3路線、非並行:31路線



注1 景気動向・天候等の要因は考慮していない
注3 地域鉄道は、路線の全輸送人員を計上

注2 6月には、実験開始後3日間(6/28~30)を含む(月単位の集計であるため)
注4 平成21年は休日上限1,000円割引の適用日を4日間拡大

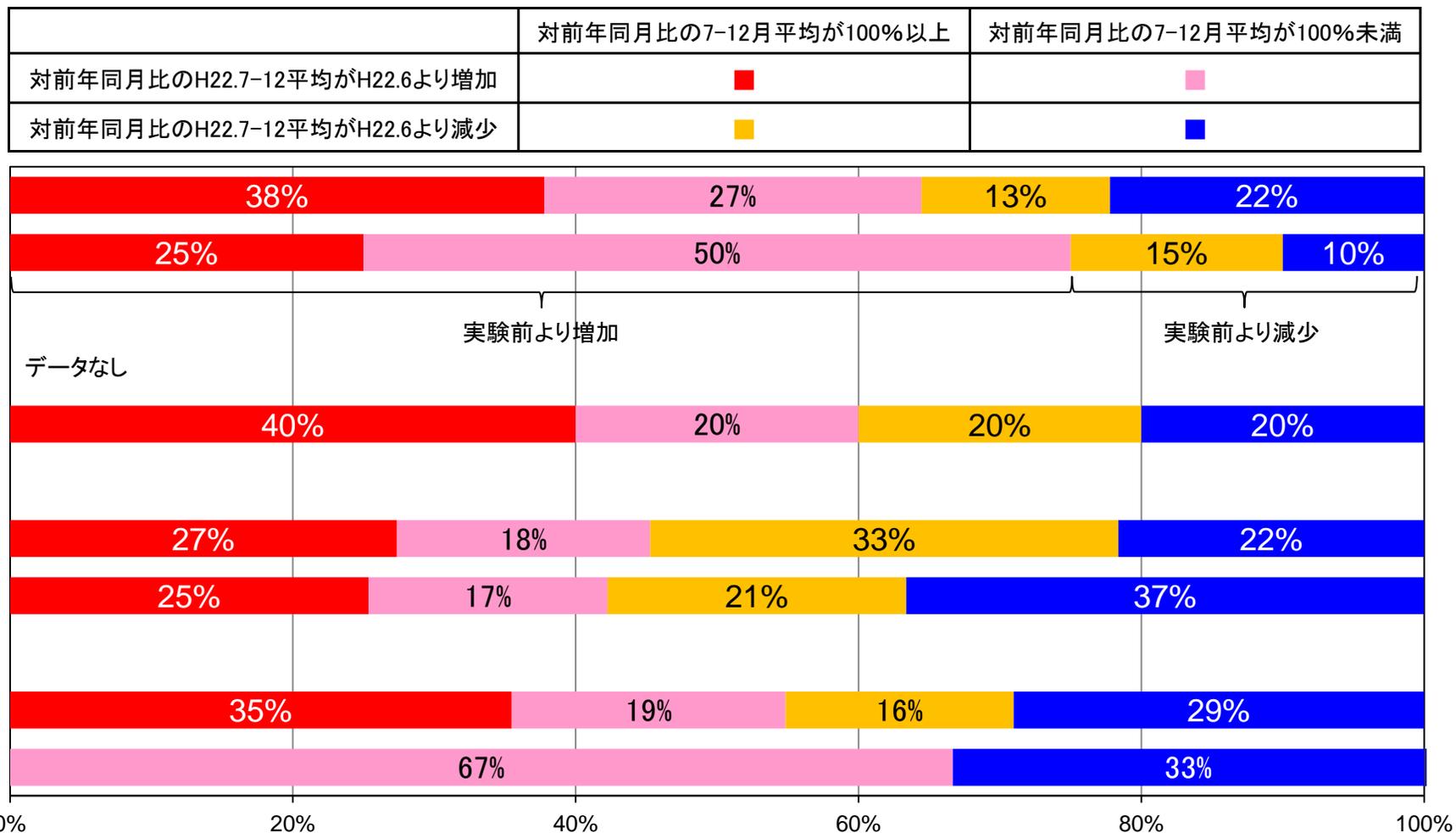
◇個別にみた場合、高速バスについて前年を下回り、

1. 他モードの状況

かつ実験前より減少傾向の路線の割合が比較的大きい状況

他の交通機関の旅客輸送量の動向^{注1}

(実験前1ヵ月と実験開始後6ヵ月間の対前年同月比の比較^{注2, 4, 5})



注1 景気動向・天候等の要因は考慮していない 注2 実験前1ヵ月には、実験開始後3日間(6/28~30)を含む(月単位の集計であるため)
 注3 地域鉄道は、路線の全輸送人員を計上 注4 平成21年8月は休日上限1,000円割引の適用日を4日間拡大
 注5 9月については、平成21年の連休の影響が考えられるため、集計から除く

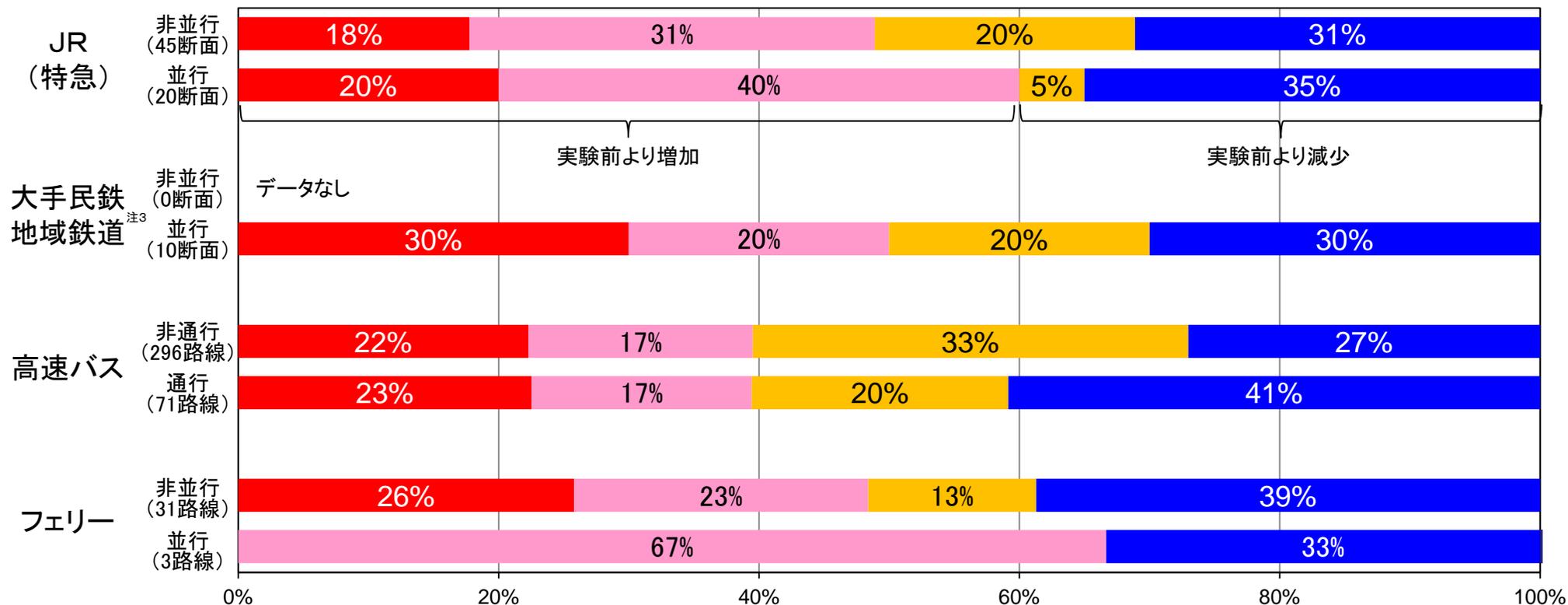
(参考)他の交通機関の旅客輸送量の動向

1. 他モードの状況

[9月データを含めた場合]

(実験前1ヵ月と実験開始後6ヵ月間の対前年同月比の比較^{注1, 2, 4})

	対前年同月比の7-12月平均が100%以上	対前年同月比の7-12月平均が100%未満
対前年同月比のH22.7-12平均がH22.6より増加	■	■
対前年同月比のH22.7-12平均がH22.6より減少	■	■

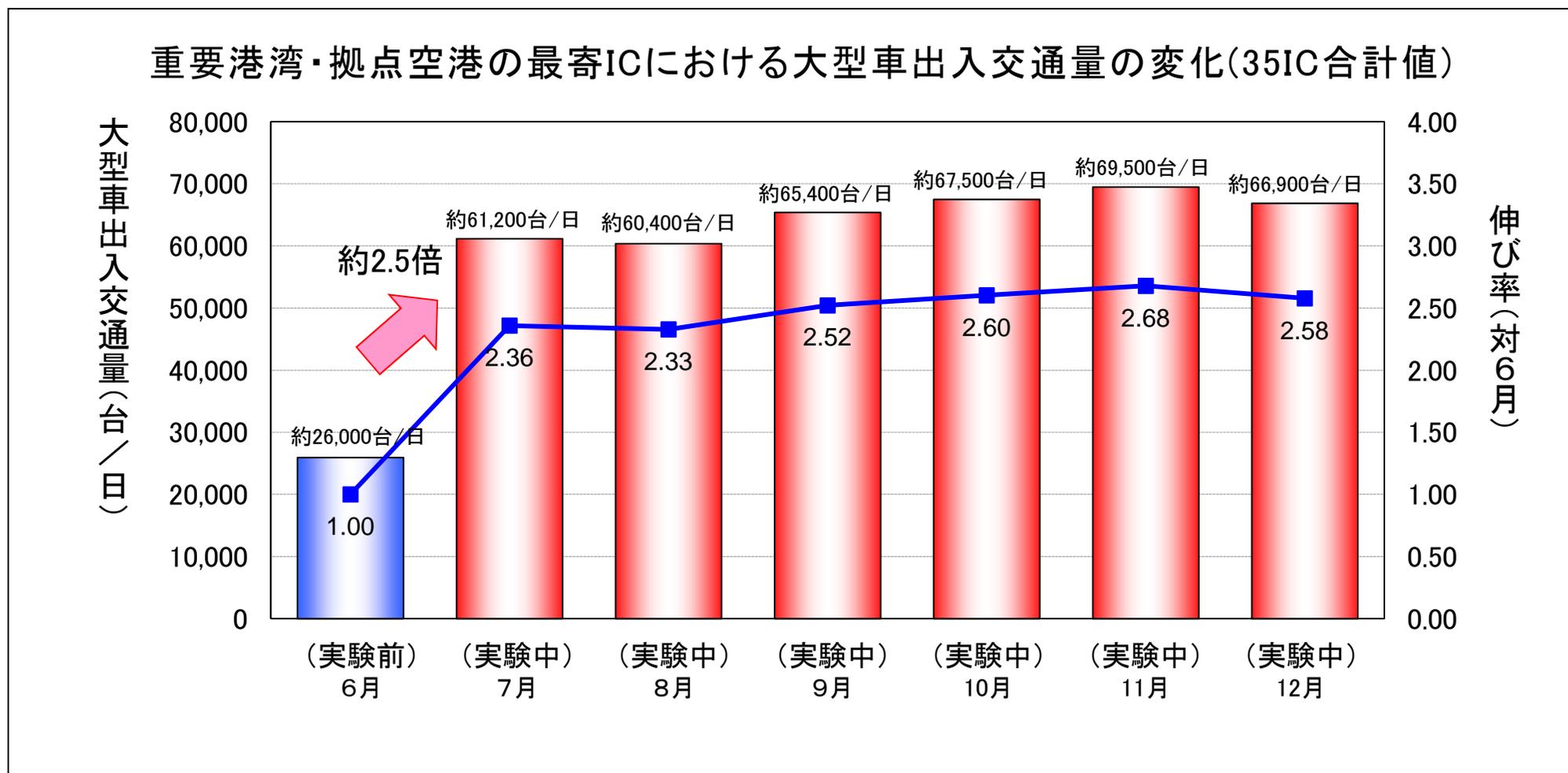


注1 景気動向・天候等の要因は考慮していない
 注2 実験前1ヵ月には、実験開始後3日間(6/28~30)を含む(月単位の集計であるため)
 注3 地域鉄道は、路線の全輸送人員を計上
 注4 平成21年8月は休日上限1,000円割引の適用日を4日間拡大

H21.9月の連休の影響で、9月の高速道路交通量(普通車以下)も前年から減小(約3%減)
 ※H22の高速道路交通量は無料化実験により、全体的に対前年増の傾向

◇重要港湾・拠点空港の最寄IC※の大型車交通量は約2.5倍に増加

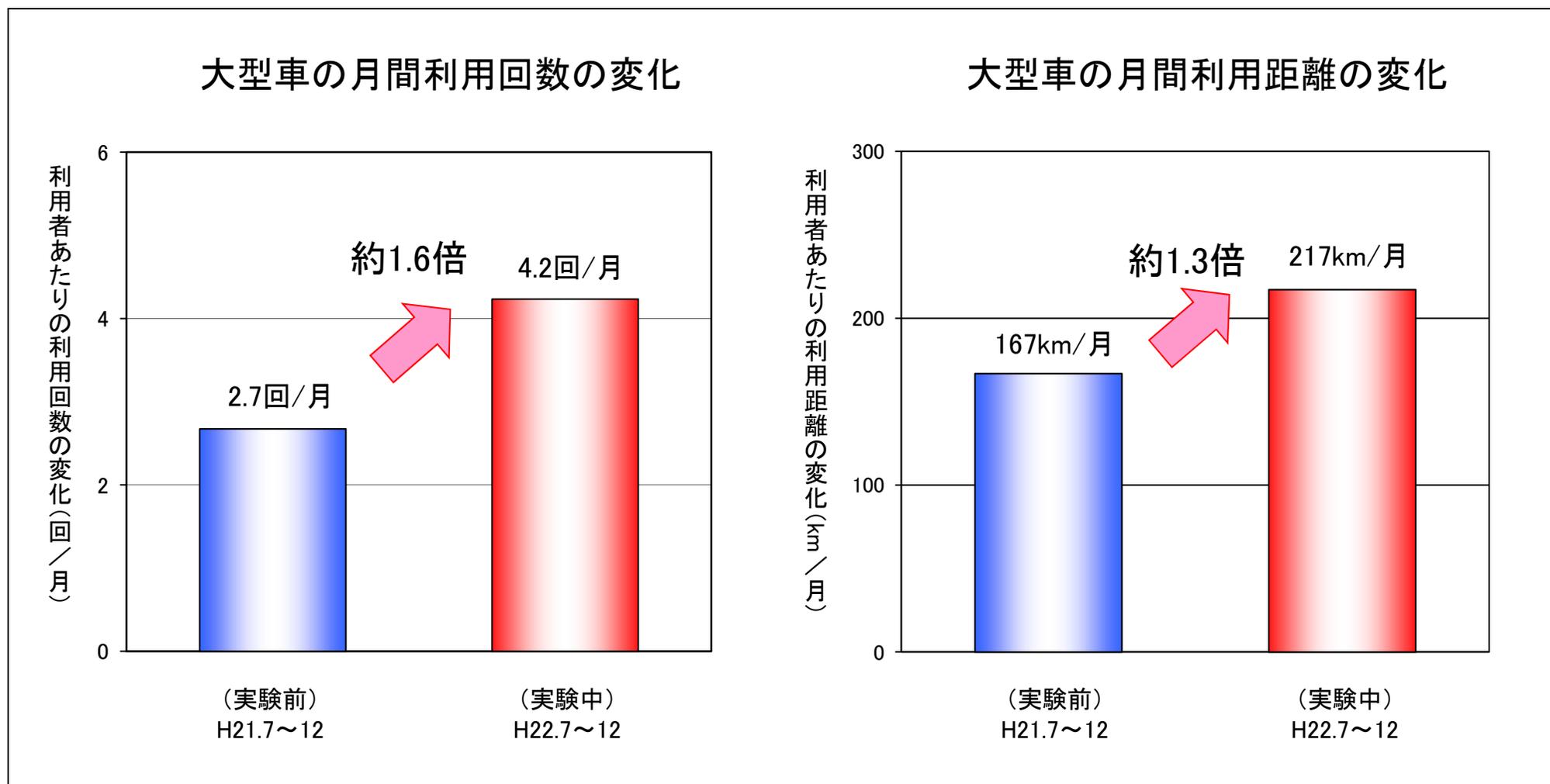
→物流拠点から高速道路を利用する割合が増加



※ 平日のNEXCO営業データ(中型車・大型車・特大車)等を使用

※ 重要港湾・拠点空港の最寄ICが無料化社会実験区間に位置する35ICを対象

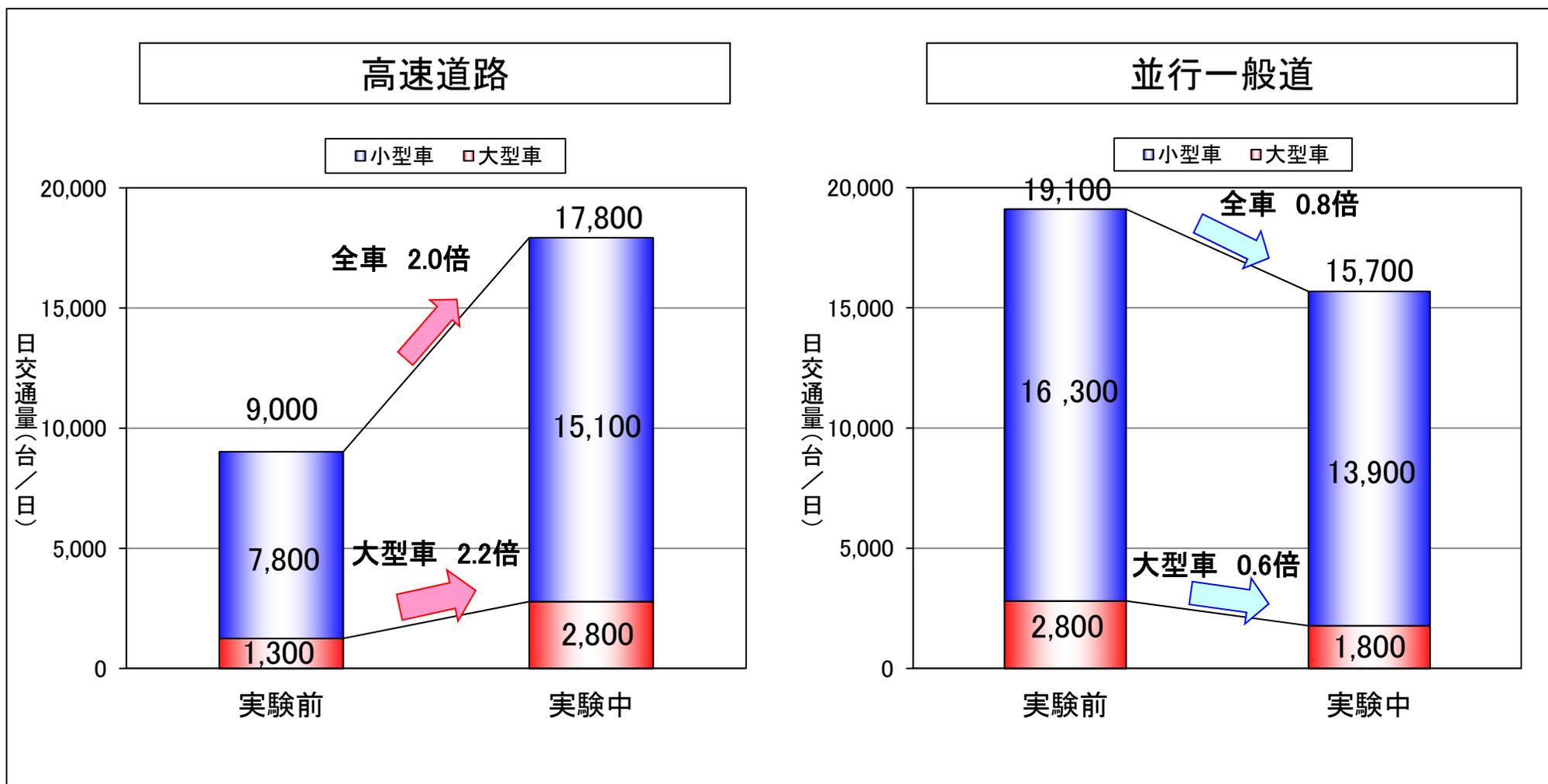
◇実験区間を利用する大型車の利用頻度は約1.6倍に増加、
利用距離は約1.3倍に増加



※ 平日のETCデータ(中型車・大型車・特大車)を使用

◇大型車の交通量は、高速道路の実験区間では約2.2倍に増加
 並行する一般道では約4割減少

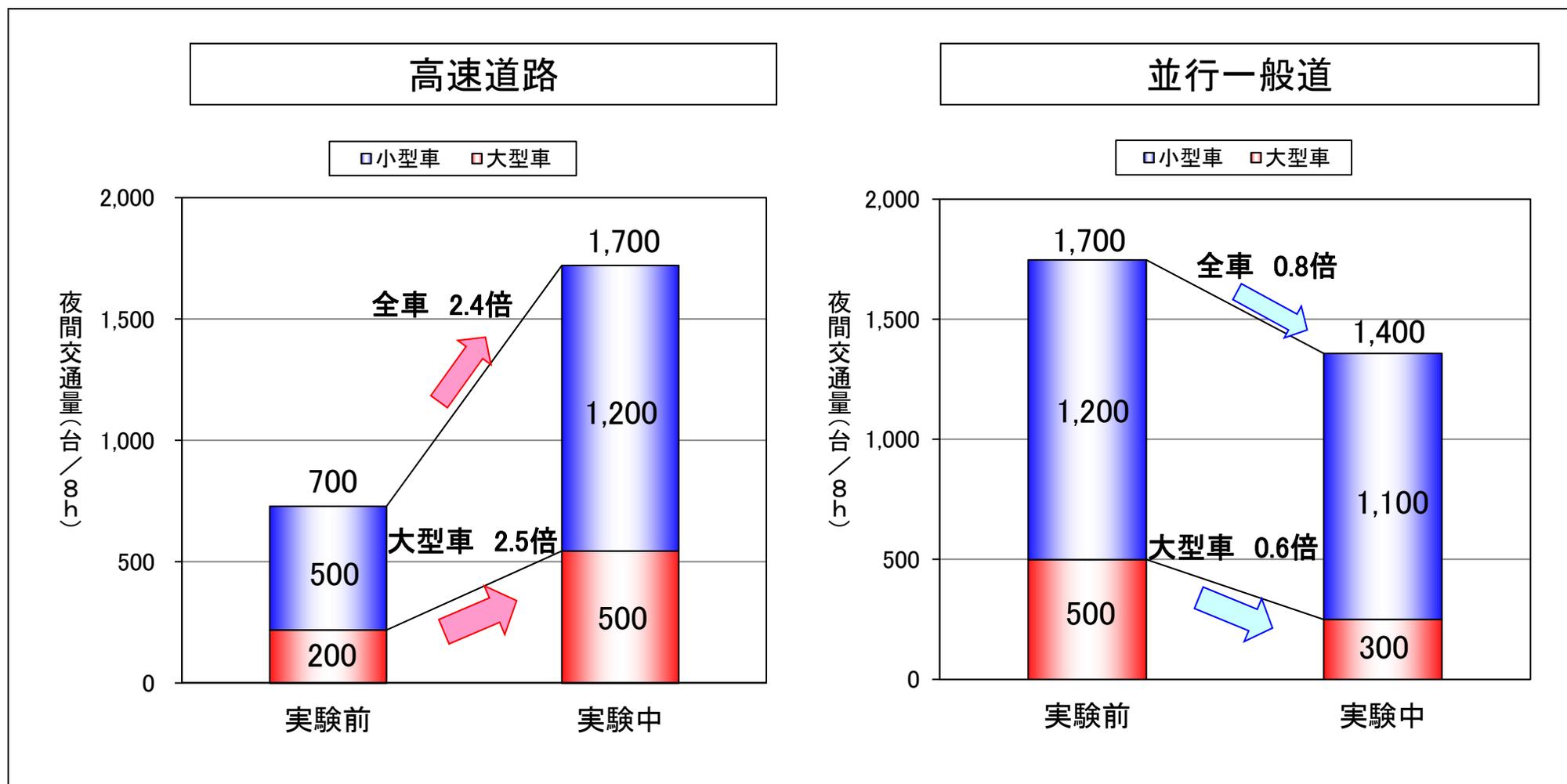
→大型車の方が、並行一般道から転換する割合が大きい



※ 交通量は、トラフィックカウンターによる代表断面(50断面)の6カ月間の平均交通量

◇夜間の大型車の交通量は、高速道路の実験区間では約2.5倍に増加
 並行する一般道では約4割減少

→夜間は、並行一般道から転換している割合が高い



※ 交通量は、トラフィックカウンターによる代表断面(50断面)の6か月間の平均交通量
 ※ 夜間交通量は、22時～6時の交通量(台/8h)

◇無料化区間ICの近傍(10km圏内)や、社会実験にあわせた地域の取組を実施している施設では入込客数が増加

〔前年同期比〕

区分	無料化区間ICからの距離		地域の取組	
	10km圏内 (83施設)	10km圏外 (79施設)	有 (49施設)	無 (113施設)
平日 6/28～12/31 お盆・年末除く	約9%増	横ばい	約9%増	約3%増
休日 6/28～12/31 お盆及び各月連休、 年末を除く	約9%増	横ばい	約8%増	約3%増
7月3連休 7/17～7/19	約13%増	約4%増	約13%増	約8%増
お盆 8/13～8/16	約7%増	約2%減	約7%増	約1%増
10月連休 10/9～10/11	約6%増	約8%減	約2%増	約2%減

※調査対象施設:無料化社会実験区間から約30km圏内の観光入込客統計の調査対象である観光施設のうち、協力を得られた162施設

※9月連休及び11月連休は実験前と実験中とで連休の日数が異なるため、集計から除いている

※年末:12/29～12/31

(参考) 地域の主な取組み事例

○ 無料化区間

伊勢自動車道・紀勢自動車道
(津IC～伊勢IC・紀勢大内山IC)

○ 取組み内容

- ・ 南三重地域でスタンプラリーを実施し、抽選で宿泊券などを贈呈

(実施主体: 東紀州観光まちづくり公社)

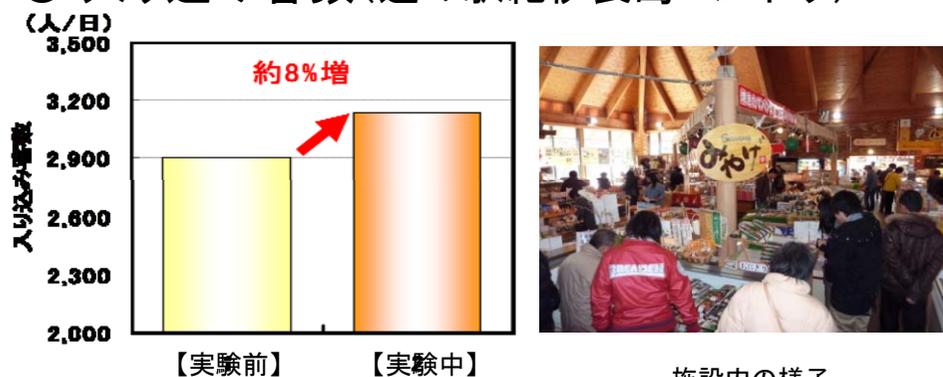
- ・ ラッキーほくホクキャンペーンとしてクーポン付きチラシを作成・配布

(実施主体: 紀北町観光協会)



スタンプラリーチラシ

○ 入り込み客数(道の駅紀伊長島マンボウ)



施設内の様子

実験前: 平成21年6月29日～12月31日
実験中: 平成22年6月28日～12月31日

○ 無料化区間

舞鶴若狭自動車道
(小浜西IC～吉川JCT)

○ 取組み内容

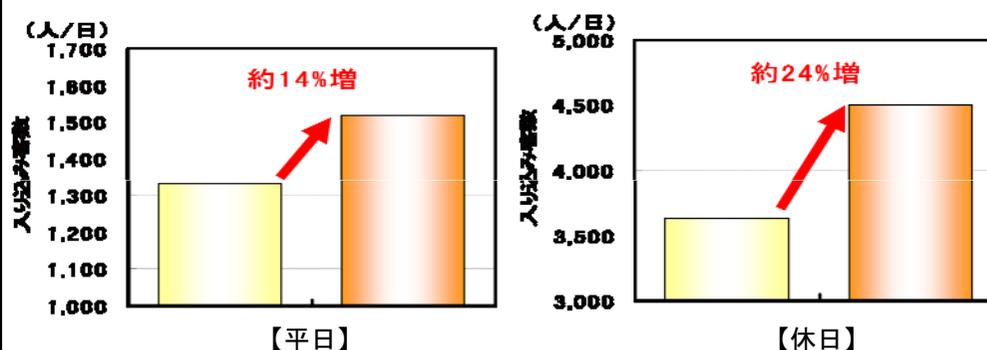
- 「イコー！若狭路」スタンプラリーを実施し、抽選で特産品を贈呈

(実施主体: 福井県・若狭湾観光連盟・嶺南地域振興推進協議会・嶺南6市町)



キャンペーンチラシ

○ 入り込み客数(道の駅シーサイド高浜)



集計期間(実験前、実験中): 6月28日～8月31日
休日: 7月3連休、お盆(実験前: 8月14～17日、実験中: 8月13～16日) を含む土日祝日
平日: 休日を除く平日